

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <https://keepergiken.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼CEO（氏名） 谷 好通
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役兼Co-CEO（氏名） 鈴置 力親（TEL）0562-45-5258
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	5,774	6.7	1,380	△7.8	1,352	△10.0	910	△10.7
2025年6月期第1四半期	5,411	13.6	1,497	27.2	1,503	27.3	1,019	27.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	33.35	—
2025年6月期第1四半期	37.36	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	28,387	20,769	73.2
2025年6月期	24,826	18,042	72.7

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 20,769百万円 2025年6月期 18,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,300	9.9	4,350	7.9	4,350	8.4	4,700	71.1	172.29
通期	26,300	13.9	8,000	12.7	8,000	12.2	7,200	47.3	263.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期1Q	28,280,840株	2025年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年6月期1Q	989,654株	2025年6月期	989,619株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年6月期1Q	27,291,207株	2025年6月期1Q	27,291,808株
------------	-------------	------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
第1四半期累計期間	9
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2026年6月期 第1四半期決算短信

当事業年度（2025年7月1日から2025年9月30日）における我が国の経済は、雇用および所得環境が改善傾向にあったものの、物価上昇の長期化により家計の負担が増大しました。そのため、個人消費への影響に対する先行きへの懸念が続き、消費者は節約志向を強め、支出も慎重な状況が続きました。

さらに、米国の関税政策の影響、エネルギー価格や原材料価格の上昇、中国経済の成長鈍化などの影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供するKeePerコーティングの品質の維持・向上を、これまで以上に実現していくことが、当面の業績向上のみならず、将来の発展を見据えたKeePerブランドの確立において最も重要であると考えております。

2026年6月期 第1四半期 実績

当第1四半期累計期間におきましては、売上高は57億74百万円（前年同期比6.7%増加）、営業利益は13億80百万円（同7.8%減少）、経常利益は13億52百万円（同10.0%減少）、純利益は9億10百万円（同10.7%減少）となりました。

この第1四半期期間（7月～9月）にかけては、日本全国で災害級の猛暑となり、「お客様が、来店やサービスのご注文をためらう状況が多くみられた」、また、多くのキーパープロショップの店舗では、「暑すぎて作業ができない」など、コーティングや洗車サービスにおいて大きなマイナス影響が生じました。

さらに、トランプ関税問題に関連し、米国の関税大幅引き上げの発動前に車両を米国本土へ持ち込む動きが見られたため、日本国内で販売・納車できる車両が非常に少ない状況が続き、キーパーLABO運営事業・キーパー製品等関連事業ともに、新車向けコーティングが減少しました。

なお、8月19日に開催した創立40周年記念パーティーに関する費用52百万円を計上しており、一時的な減益要因となっております。

事業分野別の状況は次のとおりです。

キーパーLABO運営事業

キーパーLABO運営事業の売上高は、32億16百万円（前年同期比8.2%増加）、セグメント利益は3億86百万円（同28.0%減少）となりました。

今年の7月～9月は、昨年、経験をした異例の猛暑から学んだ事前の“暑さ対策”を講じました。

1. 大幅な増員（129名増加）
2. 中部大学の伊藤教授指導のもと厳密に選択した暑さ対策の冷感インナーシャツと冷感速乾Tシャツを店舗スタッフ全員に各3枚ずつ配布
3. 各店舗にスタッフ人数×3,000円の猛暑対策費として支給し、アイスクリームなど冷菓が大量に冷凍庫に用意
4. 外の暑い場所での作業が多くなる『洗車』に対してインセンティブを設定

上記4点に加えて、従来から店舗で実施をしていた『小まめな水分補給』や『作業時間を普段より多めに取ってクールダウンタイムに充てる』なども継続した結果、残念ながら1名の体調不良者は発生してしまいましたが、全体としては対策の効果が表れ、異例の猛暑下を乗り切ることができたものと考えています。ただし、上記4点によるコスト上昇分（第1四半期累計:約128,000千円）の影響で、セグメント利益が前年同期間比で減少の要因となっております。

各種キーパーコーティングの施工台数については、SNS上での評判が高いEXキーパーの施工台数が3,920台（前年比12.8%増加）と好調を維持しております。一方、新車販売台数の減少が影響してダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は、12,911台（前年比0.1%減少）にとどまりました。また、9月の天候不順が影響してフレッシュキーパー、クリスタルキーパーの施工台数は、20,658台（前年比3.9%減少）となり、各キーパーコーティングのメンテナンス類は前年比0.7%増加となりました。

その結果、当第1四半期においては、猛暑対策が功を奏して洗車での来店台数が増え、総来店台数は195,536台と前年同期で14.2%増加、その反面、平均単価は16,449円/台（前年比5.2%減少）となりました。

今後の新店開発の予定

今期の新規出店は、直営店舗、FC店舗も含め30店舗を予定しており、現在まで計画通りに進捗しております。

開店済み

店舗名	所在地	オープン日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
盛岡店 (FC)	岩手県盛岡市	2025年7月2日	157 (137)
青森店 (FC)	青森県青森市	2025年7月4日	158 (137)
宮の沢店	北海道札幌市	2025年7月30日	159 (138)
国分寺店 (FC)	東京都国分寺市	2025年9月25日	160 (138)
長野 中御所店	長野県長野市	2025年10月1日	161 (139)
大和店 (FC)	神奈川県大和市	2025年10月3日	162 (139)

2025年10月末時点でのキーパーラボ店舗数は、直営139店舗、FC23店舗、全162店舗となりました。

今後の開店予定

店舗名 (仮称)	所在地	オープン予定日
札幌インター店 (FC)	北海道札幌市	2025年11月21日
栗東店 (FC)	滋賀県栗東市	2025年12月
釧路店 (FC)	北海道釧路市	2025年12月
稲沢店	愛知県稲沢市	2026年1月
つくば店 (FC)	茨城県つくば市	2026年1月
高崎店	群馬県高崎市	2026年1月
岩出店	和歌山県岩出市	2026年2月※和歌山県初
浜松中央店 (FC)	静岡県浜松市	2026年2月
東大阪店	大阪府東大阪市	2026年2月
鹿児島店 (FC)	鹿児島県鹿児島市	2026年3月
周南店	山口県周南市	2026年3月※山口県初
平子橋店	愛知県名古屋市	2026年3月
鎌ヶ谷店	千葉県鎌ヶ谷市	2026年3月
八尾店	大阪府八尾市	2026年3月
京都上桂店	京都府京都市	2026年3月
枚方北山店 (FC)	大阪府枚方市	2026年3月
仙台錦が丘 (FC)	宮城県仙台市	2026年3月
越谷レイクタウン店 (FC)	埼玉県越谷市	2026年3月
太田川店	愛知県東海市	2026年3月
横浜旭店 (FC)	神奈川県横浜市	2026年4月
岡崎針先店	愛知県岡崎市	2026年4月
甲府店	山梨県甲府市	2026年4月※山梨県初
高松屋島店	香川県高松市	2026年4月
廿日市店 (FC)	広島県廿日市市	2026年4月
福岡桜ヶ丘店 (FC)	福岡県福岡市	2026年4月
岡山福成店 (FC)	岡山県岡山市	2026年4月
広島西条店	広島県西条市	2026年4月

既存店の改装 今後の予定

店舗名	所在地	ブース数の増設
※済み…市原店	千葉県	ブース:5台 → 8台…さらに3台分増設可
久留米店	福岡県	ブース:4台 → 6台
世田谷店	東京都	全面改装:モビリティベース化 ブース:8台 → 20台
佐倉店	千葉県	ブース:4台 → 9台

キーパー製品等関連事業

キーパー製品等関連事業の売上高は25億57百万円（前年同期比4.8%増加）、セグメント利益は9億94百万円（同3.5%増）となりました。

キーパー製品等関連事業の売上構成比

単位: 百万円	'25.6期 Q1	構成比	'26.6期 Q1	構成比	前年比
製品売上	2,439	—	2,557		+4.8%
—アフターマーケット	1,613	66.1%	1,569	61.4%	-2.5%
—新車マーケット	733	30.1%	909	35.6%	+24.0%
—海外	16	0.7%	5	0.2%	-64.0%
—車以外	78	3.2%	72	2.8%	-8.1%

アフターマーケットの中心であるキーパープロショップでは、猛暑の影響を大きく受け、前年同期比2.5%減少となりました。連日続く災害級の異常な暑さにより、現場では厳しい施工環境が続き、「1日の施工台数制限をかけたり」「予約以外は作業をしない」など、7月8月ともにコーティングや洗車台数が減少し、コーティング商材の出荷数量も減少しました。

さらに追い打ちをかけたのは、9月に公正取引委員会による軽油価格カルテルの疑いで、石油製品販売会社8社に対する強制調査が入ったことです。この影響により、店頭ではコーティング販売に消極的にならざるを得ない状況となりました。しかし、このような事は一時的であり、2ヶ月程度で現場は落ち着き、通常の運営に戻る見通しです。

一方、毎年開催している「2025年キーパー技術コンテスト」では、参加人数が過去最高を記録するなど、実績が年々向上しているキーパープロショップも多数存在しております。引き続き、車齢は年々長くなっており、アフターマーケットに対する需要は根強いものがあります。

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、前年同期比24.0%増加となり、構成比が前期30.1%から35.6%へと伸長しました。トランプ関税問題で北米マーケットへの影響を受けているスバルは、日本国内の新車販売とともに高付加価値コーティングの販売に力を入れており、大きな進捗が見られました。

一方、トヨタやホンダにおいては、依然として関税問題の影響を受け、国内マーケットでの販売・納車可能な車両が少ない状況が続いております。

また、8月からスタートした「メルセデス・ベンツ」は順調に導入が進んでおり、2025年3月に販売を開始した「ボルボ」とともに販売台数が右肩上がりで見られ、輸入車とKeePerの相性の良さが明確に表れています。

「車以外」のサービスは前年同期比64.0%減と大きな減少となりました。昨年同期間にモバイル端末用「Mobile KeePer（モバイルキーパー）」を一括納品した反動もありますが、店頭での販売数量が伸び悩む状況にあります。現場の実績向上に直結する活動を再構築する必要があり、体制を大きく見直し、立て直しを図っております。

海外展開については、KeePer LABOシンガポール店がオープン2年目を迎え、着実に立ち上がってきました。今後は、日本国内で純正採用をいただいているカーメーカーへの営業活動を海外でも広げ、日本同様にカーディーラーとのコラボレーションを進めてまいります。さらに、台湾のキーパープロショップは昨年の3店舗から15店舗へと拡大し、店舗実績も向上、年間取引金額は1億円規模まで拡大しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ35億60百万円増加し、283億87百万円となりました。これは主として、現金及び預金が21億27百万円減少、商品が3億77百万円増加、有形固定資産が7億64百万円増加、投資有価証券が50億4百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ8億32百万円増加し、76億17百万円となりました。これは主として、未払法人税等が10億93百万円減少、資産除去債務が5億49百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ27億27百万円増加し、207億69百万円となりました。これは主として、利益剰余金が四半期純利益により7億27百万円減少したことに加えて、配当により16億37百万円減少したこと、およびその他有価証券評価差額金が34億54百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2025年8月15日公表の業績予想より変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,172,742	2,045,209
受取手形	147,933	134,809
売掛金	1,766,891	1,795,671
商品	1,179,211	1,556,818
貯蔵品	118,784	116,179
前払費用	250,540	198,691
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	5,538	17,752
その他	93,882	176,319
貸倒引当金	△199	△200
流動資産合計	7,735,326	6,041,252
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,889,207	7,686,315
構築物（純額）	391,439	398,883
機械及び装置（純額）	37,690	35,317
車両運搬具（純額）	40,934	52,991
工具、器具及び備品（純額）	258,187	259,005
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産	301,283	294,954
建設仮勘定	146,714	102,038
有形固定資産合計	10,082,293	10,846,342
無形固定資産		
ソフトウェア	98,183	89,774
その他	57,490	62,214
無形固定資産合計	155,674	151,988
投資その他の資産		
投資有価証券	4,354,132	9,358,313
関係会社株式	71,339	71,339
長期前払費用	45,542	44,663
敷金及び保証金	690,392	712,171
建設協力金	301,283	294,954
保険積立金	11,460	11,460
関係会社長期貸付金	871,666	854,710
繰延税金資産	507,682	-
その他	17	17
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,853,510	11,347,624
固定資産合計	17,091,478	22,345,955
資産合計	24,826,804	28,387,207

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,910	1,026,842
1年内返済予定の長期借入金	506,316	506,316
未払金	610,277	519,689
未払法人税等	1,571,185	477,358
未払費用	461,473	326,856
リース債務	25,379	25,284
賞与引当金	73,411	287,583
契約負債	258,592	247,250
その他	183,268	236,539
流動負債合計	4,303,815	3,653,721
固定負債		
長期借入金	943,105	816,526
退職給付引当金	558,236	573,121
役員退職慰労引当金	294,257	296,902
リース債務	275,903	269,670
資産除去債務	397,953	947,684
繰延税金負債	-	1,048,638
その他	11,387	11,387
固定負債合計	2,480,843	3,963,929
負債合計	6,784,658	7,617,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,049,019	1,049,019
利益剰余金	17,755,720	17,028,430
自己株式	△2,165,002	△2,165,126
株主資本合計	17,987,294	17,259,881
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,851	3,509,675
評価・換算差額等合計	54,851	3,509,675
純資産合計	18,042,145	20,769,556
負債純資産合計	24,826,804	28,387,207

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,411,814	5,774,257
売上原価	2,710,314	3,067,653
売上総利益	2,701,500	2,706,604
販売費及び一般管理費	1,204,373	1,325,938
営業利益	1,497,127	1,380,666
営業外収益		
受取利息	1,066	5,675
為替差益	37,241	-
受取手数料	607	690
その他	1,435	7,226
営業外収益合計	40,350	13,593
営業外費用		
支払利息	65	4,837
為替差損	-	30,375
その他	33,891	6,257
営業外費用合計	33,956	41,470
経常利益	1,503,520	1,352,788
特別利益		
固定資産売却益	2,005	75
特別利益合計	2,005	75
特別損失		
固定資産除売却損	3,301	1,526
特別損失合計	3,301	1,526
税引前四半期純利益	1,502,224	1,351,337
法人税、住民税及び事業税	539,805	434,099
法人税等調整額	△57,182	7,054
法人税等合計	482,622	441,153
四半期純利益	1,019,601	910,183

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	155,694	—	155,694	—	155,694
仙台営業所	283,122	—	283,122	—	283,122
東京営業所	510,154	—	510,154	—	510,154
横浜営業所	212,938	—	212,938	—	212,938
名古屋営業所	520,487	—	520,487	—	520,487
大阪営業所	243,893	—	243,893	—	243,893
広島営業所	228,536	—	228,536	—	228,536
福岡営業所	284,846	—	284,846	—	284,846
東日本	—	1,510,342	1,510,342	—	1,510,342
西日本	—	1,461,795	1,461,795	—	1,461,795
顧客との契約から生 じる収益	2,439,676	2,972,137	5,411,814	—	5,411,814
外部顧客への売上高	2,439,676	2,972,137	5,411,814	—	5,411,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119,525	—	119,525	△119,525	—
計	2,559,201	2,972,137	5,531,339	△119,525	5,411,814
セグメント利益	960,728	536,398	1,497,127	—	1,497,127

(注) セグメント間の内部売上高 119,525千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当第1四半期累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	153,681	—	153,681	—	153,681
仙台営業所	295,987	—	295,987	—	295,987
東京営業所	572,500	—	572,500	—	572,500
横浜営業所	229,157	—	229,157	—	229,157
名古屋営業所	553,763	—	553,763	—	553,763
大阪営業所	246,339	—	246,339	—	246,339
広島営業所	235,442	—	235,442	—	235,442
福岡営業所	271,030	—	271,030	—	271,030
東日本	—	1,629,262	1,629,262	—	1,629,262
西日本	—	1,587,091	1,587,091	—	1,587,091
顧客との契約から生 じる収益	2,557,903	3,216,353	5,774,257	—	5,774,257
外部顧客への売上高	2,557,903	3,216,353	5,774,257	—	5,774,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153,662	—	153,662	△153,662	—
計	2,711,566	3,216,353	5,927,920	△153,662	5,774,257
セグメント利益	994,567	386,098	1,380,666	—	1,380,666

（注）セグメント間の内部売上高 153,662千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	123,051千円	161,588千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象）

当社は、2025年10月24日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社ソフト99コーポレーションの普通株式2,687,700株について、ECMマスターファンド SPV 3を公開買付者とするソフト99の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に応募することを決議いたしました。

本公開買付けに伴い、2026年6月期第2四半期において投資有価証券売却益6,762百万円を特別利益として計上する見込みです。